

1.4 -Opera Garnier ～オペラ・ガルニエ～



住所:	オペラ広場
物件種別:	劇場
建築家:	シャルル・ガルニエ(1825年～1898年)
工期:	1861年～1875年

イタリアのルネサンスから影響を受けた第2帝国の最も優雅な建物の一つ。



ナポレオン3世が、ル・ブルティエ通りの火事で倒壊した建物の跡地に公共事業としてオペラハウスの建設を発表したとき、オスマン男爵はすでに壮大なプロジェクトのルート、特に、チュイルリー宮へのアクセスとなる大通りの調査を行っていました。新しいオペラハウスを建てるために、通りが交差する場所に10,000㎡のスペースが選ばれました。

競技会が開かれ、171の候補者がプロジェクトを出しました。激しい議論の末、ローマ賞の受賞者である若い建築家シャルル・ガルニエのプロジェクトが選ばれました。



彼がウジェニー皇后に自分の計画を差し出したとき、皇后にその様式を「ギリシア様式でもローマ様式でもない！」と批判されたガルニエは、「ナポレオン2世様式です、皇后様」と応えました。

ガルニエはその後、「ヴェローナ建築」という異名をとりました。この建物は、華やかなバロックの壮麗さとの混合建築、折衷主義建築です。この建物は第2帝国の公式芸術の最も代表的な記念建造物で、パリの贅と快楽の象徴となっています。

当時、(1970年まで)ヨーロッパ最大の劇場で、11,000㎡、長さ172m、幅124m、高さ79メートル、2000人以上の観客を収容することができます。オペラ・スクエアを見下ろし、たくさんの抜け道の交差路に配置され、メイン・ファサードは通りの背景の役目を果たしています。ある意味、芸術家のマニフェストです。豊かな色彩絵画のようなそのレイアウトと学術的比率は、合成技術のなかで折衷建築の真髄を表しています。

ガルニエ自身が、画家、モザイクアーティスト、有名なジャン＝バティスト・カルポーを含む彫刻家14人を選び、73人が装飾に参加しました。



1862年7月21日、礎石が据えられました。